

生徒の目がキラキラと輝くとき

朝の校内巡視で次の教室に向かおうとした時です。その「次の教室」からU教諭の声が聞こえてきました。

「何を話そうか……おもしろい話かあ……。」

私が教室の前から顔を出すと、U教諭と目が合いました。授業とは関係のない話をしようとしたところを見られた彼は、「まずい！」と言わんばかりの表情を浮かべました。その様子に生徒たちはどっと笑いました。

「何をうろたえているんだい？聞きたいから、続けて。」

私はこう言って、彼に話を始めるように促しました。U教諭は私の方を気にしながら話し始めました。

「先日、高速道路で車を運転していた時のこと。普通は（車は）時速百キロメートルくらいで走ると思うんやけど、その時に軽（自動車）が七十キロぐらいの遅いスピードで走っていてね。遅いなあとと思って横に並んだ時にちらっと見たら、僕の姉ちゃんだったよ。あまり仲が良い兄弟じゃないけど、その時のことをきっかけにして「LINEのやり取りをやるようになったよ。」

遅い軽の運転手が姉だったというオチで、生徒たちの笑いが生まれました。

確かに数学とは関係がない話ですが、私はこういう話がタイムリーにできることが教師には必要だと思います。U教諭の名誉のために言っておきますが、いつもの彼は熱く数学の授業をやっています。その時間に歯科検診が実施され、間もなく順番が回ってくるというほんの数分のできごとでした。

その時の生徒たちの表情が、私の目に強く焼き付きました。「先生はどんな面白い話をしてくれるのだろう」とワクワクする気もちが目でわかりました。全員の視線がU教諭に集まり、瞳がキラキラと輝いています。教師の話を今か今かと待っているかのように私には見えました。

授業を受け持っているからこそできることです。いつもそんな話ばかりをしていますが、たまに肩ひじ張らない話ができるのは、授業者の特権ですね。私も授業を受け持っていた時にはよく話していたものです。のせるのが上手な生徒もいましたからね。

でも、生徒たちが目を輝かせて期待しているという事は、私の知らないところでこういう話を結構しているというのかな。もう少し頻繁に足を運ばなければいけませんね！（十月十三日



U教諭の話を目を輝かせて聞く生徒たち